

本日ここに、鹿屋体育大学体育学部204名、大学院修士課程17名、博士課程7名、合計228名の新生を迎え、令和4年度の入学式を挙行いたします。これは、教職員ならびに在学生にとりまして、大きな喜びとするところであります。



また、本日まで、ご子息、ご息女を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかつた、保護者の方々はじめ、関係各位の皆様

方、心からお祝い申し上げます。令和4年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小して開催することとなりましたが、新生を迎え、参加する皆様の健康、安全を第一に考えた結論であることをご理解ください。

さて鹿屋体育大学は、国立唯一の体育大学として、我が国のスポーツや武道、及び体育・健康づくりに関する、教育と研究を進展させる使命をもった大学であり、その成果をもとに「実践的かつ創造的で、国際性、市民性を備えた、スポーツや武道のリーダー的人材の養成」を目的としている大学です。

新入生の皆さんは、本日より鹿屋体育大学の学生として、新たなスタートを切るわけですが、皆さんには、本学での学びを通して、日々、意識を高め、実践していただき、かつ実践していただきたいことが二つあります。

一つは、スポーツや武道を対象にした学問領域がもつ、総合科学的な特性についてです。すなわち、スポーツや武道は、身体的および生理的現象であると同時に、その成績は、やる気、不安、緊張といった、心の有りようにも左右される心理的現象でもあります。そして、それらの現象に加え、スポーツおよび武道は、文化的、社会的現象でもあるため、限られた授業科目や学問領域からのアプローチでは、それらの本質を十分に理解することはできません。言い換えれば、スポーツや武道のリーダーとしての

資質および能力を身につけるためには、複数の授業科目や学問領域を、横断的、複眼的視野を持って学ぶ必要があります。鹿屋体育大学は、その学ぶべき学問領域の基盤としてスポーツ人文・応用社会科学系、スポーツ・武道実践科学系、スポーツ生命科学系の3領域からなる、多様な教員組織を構成することで、スポーツや武道、及び体育、健康づくりに関する教育と研究の充実を図っています。

新入生の皆さんは、スポーツや武道をより高い次元で総合的に学ぶ姿勢を常に持ち、自らの視野を広げる努力を日々怠らないようにしていただきたいと思っています。

二つ目は、「情報化社会におけるスポーツや武道の指導と普及の在り方」についてです。近年のスポーツ界における情報通信技術の活用は、アシリート支援の高次元化および専門化を加速し、トレーニングやコーチング、あるいは個人やチームの戦術および戦略の決定には、様々な科学技術が関与しています。しかし、その一方で、情報化社会の著しい進展は、科学的エビデンスの有る無しに関係なく、スポーツや健康に関連する様々な情報が、社会に溢れかえるという状況を生み出していることも事実です。

そのような状況下において、スポーツおよび武道の健全な発展と推進のためには、科学的に裏付けられた理論と方法に基づく、指導や普及が必要不可欠です。

皆さんは、スポーツあるいは武道の実践を通して、鹿屋体育大学で叶えたい夢を胸に秘め、今この場に臨んでいることだと思います。しかし、大学での活動や学びの道は、決して平坦なものではなく、日々努力する過程において、様々な身体的、心理的な課題に遭遇し、試行錯誤を繰り返しながら、課題に立ち向かうことになると思います。

しかし、それは皆さんにとって、課題が生じる背景を論理的に推理し、実践を通して、課題解決の手段を探求しつつ、かつ具体化する能力を磨く機会になるはずです。

そのような実践を通しての課題解決に向けた試行錯誤は、いわば科学研究のプロセスそのものに他なりません。これから大学生活において、その一連のプロセスをたゆまず継続することで、科学的エビデンスに基づく、スポーツや武道の指導および普及を担う者にふさわしい、資質と実践力を必ずや身につけることができると思います。

ここ大隅の地は、皆さんがこれからの大学生活を送るうえで、基盤となる場所です。大隅の皆様方は、学生諸君を温かく迎え、本学の教育および研究にご支援してください。是非、大隅の地を第2の故郷と思い、頑張ってください。

以上、新入生の皆さんへの期待と激励を述べて告辞とします。

※入学者数は入学式の令和4年4月5日現在

不可欠です。

皆さんは、スポーツあるいは武道の実践を通して、鹿屋体育大学で叶えたい夢を胸に秘め、今この場に臨んでいることだと思います。しかし、大学での活動や学びの道は、決して平坦なものではなく、日々努力する過程において、様々な身体的、心理的な課題に遭遇し、試行錯誤を繰り返しながら、課題に立ち向かうことになると思います。

しかし、それは皆さんにとって、課題が生じる背景を論理的に推理し、実践を通して、課題解決の手段を探求しつつ、かつ具体化する能力を磨く機会になるはずです。

令和4年度鹿屋体育大学新入生の皆さんへ

鹿屋体育大学長 金久博昭



羽ばたけ
大空へ



この新聞は公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の発行物です。編集責任者：鹿屋体育大学長 金久博昭
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827（直）



合計228名は、入学の許可を受け、ここに鹿屋体育大学の学生となることができました。

日本で唯一の国立の体育大学であるこの鹿屋体育大学に、入学できました。

私たちは入学一同は、学則及び関係規則を遵守するとともに、本学創設の理念にのっとり、品位を保ち、スポーツ・健康における実践的かつ創造的なリーダーを目指して、学業及び競技力の向上に励むことをここに誓います。

宣誓
令和4年度新入生代表 曾我 紀美
スポーツ総合課程（就実高等学校・岡山）

私たちが
・体育学部 スポーツ総合課程130名
・武道課程 54名
・第3年次編入学 スポーツ総合課程20名
・大学院体育学研究科体育学専攻修士課程15名
及び博士後期課程5名
・スポーツ国際開発学共同専攻修士課程2名
・大学体育スポーツ高度化共同専攻後期3年の課程のみの博士課程2名

育大学に、入学できましたことは、最高の喜びであり、栄誉であります。私も、専門とするバレーボールを通じて、先輩や同期の学生と切磋琢磨し、豊かな人格の形成をめざす所存です。



ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

令和4年度 冠スポーツ奨学金給付企業 (50音順)

企 業 等 名	代 表 者 名
医療法人秋津会徳田脳神経外科病院	理 事 長 徳 田 元 様
おおうら皮ふ科	院 長 寺 崎 祐太朗 様
カイコー株式会社	代表取締役社長 宝 地 雅 浩 様
株式会社鹿児島銀行	取締役頭取 松 山 澄 寛 様
株式会社かのや寿自動車学校	代表取締役 水 口 拓 己 様
株式会社きたやま	代表取締役 北 山 勉 様
小鹿酒造株式会社	代表取締役 日 高 裕 二 様
有限会社寿スポーツ	代表取締役 二 川 健 治 様
サツマガス工業株式会社	代表取締役 宮 蘭 春 人 様
株式会社新生社印刷	代表取締役 岡 崎 洋 人 様
医療法人青仁会池田病院	理 事 長 池 田 徹 様
大海酒造株式会社	代表取締役 河 野 直 正 様
税理士法人風呂井会計	代 表 社 員 風呂井 敬 様
株式会社丸屋	代表取締役社長 家 迫 崇 史 様
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団	会 長 水 野 明 人 様
株式会社ミズホ商会	代表取締役 田 中 丈 尋 様

令和4年度 冠スポーツ奨学金給付対象学生

体操競技	上 山 廉太郎	2020 年全日本学生体操競技選手権 ゆか 2 位、2021 年全日本学生体操競技選手権 ゆか 3 位、2021 年 U-21 日本代表強化指定選手
	杉 野 正 堯	第 60 回 NHK 杯体操 個人総合 6 位、第 75 回全日本体操種目別選手権 鉄棒 3 位、2021 年ナショナル強化指定選手、2020 東京オリンピック日本代表候補選手選出
	妹 尾 舞 香	第 60 回全日本女子剣道選手権大会 個人 1 位 第 55 回全日本女子学生剣道選手権大会 個人 2 位
自転車競技	大河内 将 泰	第 89 回全日本自転車競技選手権大会ロード・レース U23 4 位、2022 年 JCF ロード U23 男子強化指定選手 (ナショナルチーム)

令和3年度 冠スポーツ奨学金（団体）

体操競技部	第 75 回全日本学生体操競技選手権大会	男子団体総合	2 位
なぎなた部	第 60 回全日本学生なぎなた選手権大会	試合競技 団体の部	1 位



「第60回全日本なぎなた選手権大会」(令和3年8月)の試合
競技団体の部(女子)で優勝したなぎなた部



「第75回全日本学生体操競技選手権大会」(令和3年9月)で
男子団体総合2位、体操競技部

また、令和4年度スポーツ奨学金給付象学生として、体操技部の上山廉太郎さん（スポーツ総合課程（スポーツ総合課程）年、船橋市立船橋高学校・千葉）、杉野亮さん（大学院修士課程2年、鹿屋体育大学剣道部の妹尾舞香さん（武道課程4年、中村園女子高等学校、福岡自転車競技部の大河将泰さん（スポーツ合課程3年、南大隅校・鹿児島）の4名）に、証書が贈られました。

冠スポーツ奨学金付企業の皆様の多大のご協力に、この場借りて心からの感謝お礼を申し上げます。

令和3年度冠スポーツ奨学金 令和4年度スポーツ奨学金対象学生を決定

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団では、国内外の競技大会で優秀な成績を収めた学生や競技団体に對して、毎年「冠スポーツ奨学金」を贈呈しています。新型コロナウイルスの影響で毎年3月に開催される贈呈式並びに授与式は中止になりましたが、令和3年度は陸上競技部、体操競技部、柔道部、剣道部、自転車競技部、カヌー部、なぎなた部の7課外活動団体に所属する33名と、体操競技部、なぎなた部の2団体に贈られました。

また、令和4年度冠スポーツ奨学金給付対象学生として、体操競技部の上山廉太郎さん（スポーツ総合課程4年、船橋市立船橋高等学校・千葉）、杉野正

令和3年度 冠スポーツ奨学金（個人）

所属団体	大会名	氏名	種目	成績
陸上競技	天皇賜盃第 90 回日本学生陸上競技対校選手権大会	岩 崎 孝 史	男子三段跳	3 位
		金 城 海 斗	男子砲丸投	3 位
体操競技	第 75 回全日本体操種目別選手権	杉 野 正 堯	鉄棒	3 位
	第 75 回全日本学生体操競技選手権大会	上 山 廉太郎	跳馬	2 位
柔道	2021 年度(男子 40 回)全日本学生柔道体重別選手権大会	福 田 大 悟	男子60kg級	1 位
		吉 野 弘 人	男子90kg級	3 位
剣道	第 60 回全日本女子剣道選手権大会	妹 尾 舞 香	女子個人	1 位
	第 69 回全日本学生剣道選手権大会	木 村 恵 都	男子個人	2 位
	第 60 回全日本女子剣道選手権大会	東 堅 嘉 怜	女子個人	3 位
自転車競技	第 24 回全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会	石 上 夢 乃	女子個人タイムトライアル	2 位
	文部科学大臣杯第 76 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	成 海 綾 香	女子チームスプリント	1 位
		中 西 美 央		
		山 根 慶 太	男子チームスプリント	2 位
		宮 田 龍 一		
		黒 瀬 浩太郎	男子スプリント	3 位
		成 海 大 聖	男子タンデムスプリント	3 位
		田 仲 駿 太		

所属団体	大会名	氏名	種目	成績
自転車競技	第 23 回全日本学生選手権クリテリウム大会	西 原 裕太郎	男子クリテリウム	3 位
カヌー	第 57 回全日本学生カヌースプリント選手権大会	岩 男 凌	男子カナディアンシングル200m	1 位
		吉 田 俊 吾	男子カナディアンシングル1000m	1 位
		田 中 智 貴	男子カナディアンペア200m	1 位
		岩 永 紘 明		
		池 口 黎 於	男子カナディアンペア200m	2 位
		原 田 雅 功		
		高比良 海 斗	男子カナディアンペア1000m	3 位
		北 崎 健 介		
		安 藤 久 騎	男子カヤックリレー 500m×4	2 位
		内 田 海 斗		
		下 川 拓 樹		
		松 本 仁 心		
なぎなた	第 60 回全日本学生なぎなた選手権大会	上 間 朱 梨	演技競技	2 位
		秋 葉 笑 里		
		春 山 りんか	試合競技 個人の部	3 位

新役員紹介



理事・副学長・事務局長

平川 康弘

4月1日付けで理事
(組織・運営担当)・副
学長・事務局長として着
任しました。

鹿児島での勤務は初めてであり、赴任初日はフェリーで、すぐそこに見える桜島を見上げながら、桜島の壮さに感激しつつ身が引き締まる感覚を得て、この地で大学のために最善を尽くそうと大学正門をくぐってまいりました。

これからの時代は Society 5.0 の到来、少子・高齢化の進展などに、より大きく社会が変化していきます。そのため、人の価値観や生活様式なども変わることから、そのための学びの在り方・やり方も変えていく必要があります。しかし、これからの社会を創っていくのは「人」であり、「本学の学生たち」であることは変わりません。

本学は、国立唯一の体育大学であり、教育の目標として、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおいて社会を変革する力と意欲を持った人材を育成することを掲げており、これからの社会を創っていく「本学の学生たち」のために、金久学長のもと大学をあげて社会に有意な人材の育成に取り組んでいきたいと思っております。



★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

運転免許のことなら

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ **TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp**
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>



<http://www.mizuho.kubota.ne.jp>

〒893-0009
鹿兒島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】

鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理



鹿屋市 許可
株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社 **レモンガス** かしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



鹿屋体育大学に新風 金久博昭学長のもと新体制がスタート



【プロフィール】
かねひさ・ひろあき。1953（昭和28）年8月27日、京都府生まれ。東京大学教育学部大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。東京大学教養学部助手、国際武道大学体育学部助教授、富山大学教育学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、2010年4月に鹿屋体育大学体育学部教授として着任。2014年8月副学長、2016年8月理事・副学長、2019年3月定年退職。2019年4月から立命館大学スポーツ健康科学部教授。2022年4月、鹿屋体育大学第8代学長に就任。任期は2028年3月まで6年間。

2022年4月に金久博昭学長が鹿屋体育大学第8代学長に就任し、新体制がスタートしました。金久学長は「原点は体育大学」と、東京大学大学院教授を辞めて2010年4月に本学に着任、2019年3月の定年退職まで9年間勤務しました。昨日の自分に負けたくない、とトレーニングは毎日欠かさず、研究者としても厳しい一方で、気さくで明るくリーダーシップのある人柄が人望があり、多くの学生や教職員に慕われています。大学を取り巻く社会や経済の状況が大きく変化する時代の学長就任に「本学のプレゼンスを高めていく努力を惜しまない」と、さらりと話す言葉の中に強い覚悟を感じました。

「2010年に東京大学教授の肩書を捨てて、鹿屋体育大学に着任したのは？」

金久 子どもの頃から身体を動かすことが大好きで、保健体育の教員になりたくて日本体育大学に進学しました。両親とも小学校の教員でしたから、親は卒業後は京都に戻り、地元で教員になってくれるものだと思っていたようです。ところが大学3年生になってゼミを選択した時に石井喜八先生という研究者に出会い、大きな人生の転機となりました。大学を卒業した先に大学院があると、人生で初めて意識したことを初めて意識し、人生で初めて親の意向に異を唱え、卒業後は石井先生の母校である東

京大学の大学院に進学しました。その後、大学教員として東大や国際武道大学などいくつかの大学を渡り歩いて再び東大に戻ったのですが、根っこが「体育」なので、大学教員としての最後は体育大で終わりたいとずっと思っていました。実は国際武道大学と鹿屋体育大学は開学の年が一緒で、鹿屋体育大学に対して憧れを持っていました。たまたま東大と一緒に研究をしていた福永哲夫先生が鹿屋体育大学の学長に就任した際に声をかけてもらったので、二つ返事で東大から鹿屋体育大学への移籍を決めました。――本学を2019年に定年退職されたあと、故郷・京都の立命館大学で

教授に立られました。――立命館に行ったら段階で、よもや自分が再び鹿屋に戻ってくることになるうとは思っていませんでした。そこはもう巡り合わせとしか言いようがないですね。

――学長就任式では任期中の教育・研究に対する基本的な姿勢として、学校教育法第83条第1項「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする」とを明示されました。金久 学校教育法第83条第1項には、大学教員の本来あるべき姿が凝縮されていると思います。すなわち、大学の教員は文科省の指

導要領に類するものを持つていません。だからこそ、学生にとって魅力的な授業になっているか、学生のキャリアを高める上で有効か、といったことを常に自問自答しながら教育・研究に関する自身のスキルや知識に磨きをかけていかなければならないと思います。学会発表をしましょう、論文を書きましょう、と言っているのは、自己研鑽した結果を授業や教育に反映するための大学教員としての務めであり、同時に自分の独自性を出して時代とともに進化し、マンネリ化させないところが大学教員の醍醐味だと思っています。

――日本で唯一の国立の体育大学、というのが本学の特徴になっています。金久 日本で唯一、ということとはひとつの十字架として背負っていると思っています。それだけの使命と責任を果たさないといけないという自覚を教職員全員に持っていてほしいと思うし、何が強みでオリジナリティは何か、ということに常に意識し、アンテナを張り巡らせ、時代の潮流に乗るための戦略を立てていく必要があると思います。今は体育大を出なくてもスポーツを職業にできる時代。国立の体育大学としてどうあるべきか、ということに真剣に考えないと、この先受験生が本学を選んでくれるかどうかはわかりません。生き残るためには変革しつつも守るべきものは守り、危機感を持つことが大切です。

――高校生までは陸上競技、大学では空手部だったそうですね。金久 武道特有の礼節を重んじる毅然とした世界に対する憧れがありました。また、陸上競技を続けていくうえで、毎回試合に向けてコンディショニングをベストな状態に作り上げていくということに、自分自身、限界を感じていたことも事実です。しかし、結局のところ空手の世界に入っても、自己管理の大切さという点では同じであり、競技に對し自分自身がどのように向き合うか、ということに尽きると思います。――本学は昨年開学40周年を迎えました。今後は同窓会の役割も期待されます。金久 本学の教員構成から見ると、1期生が中核的な役割を担う存在になってきています。同窓生の方々の力をどう活用させていitだくか、まずは戦略的なものを打ち出していくことが大事だと思います。

――最後に抱負をお聞かせください。金久 スポーツバファーマンス研究センターを始めたとしてもスポーツを職業にできる環境の中で学長をやらせていただけるのはとても光栄です。本学のプレゼンスをさらに良い形で高めていく努力を、それこそ今日は昨日よりもできたか、という気持ちで任期を務めたいと思っています。

（取材：文／西 みやび）

技、大学では空手部だったそうですね。

金久 武道特有の礼節を重んじる毅然とした世界に対する憧れがありました。また、陸上競技を続けていくうえで、毎回試合に向けてコンディショニングをベストな状態に作り上げていくということに、自分自身、限界を感じていたことも事実です。しかし、結局のところ空手の世界に入っても、自己管理の大切さという点では同じであり、競技に對し自分自身がどのように向き合うか、ということに尽きると思います。――本学は昨年開学40周年を迎えました。今後は同窓会の役割も期待されます。

金久 本学の教員構成から見ると、1期生が中核的な役割を担う存在になってきています。同窓生の方々の力をどう活用させていitだくか、まずは戦略的なものを打ち出していくことが大事だと思います。

――最後に抱負をお聞かせください。

金久 スポーツバファーマンス研究センターを始めたとしてもスポーツを職業にできる環境の中で学長をやらせていただけるのはとても光栄です。本学のプレゼンスをさらに良い形で高めていく努力を、それこそ今日は昨日よりもできたか、という気持ちで任期を務めたいと思っています。

（取材：文／西 みやび）

令和3年度知事表彰「スポーツ部門」 本学から妹尾舞香さんと石上夢乃さんが受賞

国際大会及び全国大会等で顕著な成績を収め、鹿児島県のスポーツ振興に貢献した選手を毎年知事が表彰する令和3年度知事表彰「スポーツ部門」の表彰式が、2月17日に鹿児島県庁で行われました。個人表彰には10競技15人が選ばれ、本学から剣道部の妹尾舞香さん（武道課程4年、中村学園女子高等学校・福岡）、自転車競技部の石上夢乃さん（スポーツ総合課程4年、横浜創学館高等学校・神奈川）の2名が受賞しました（受賞時はいずれも3年）。第69回全日本女子剣道選手権大会で優勝した功績を認められた妹尾さんは「このたびは県知事表彰という素晴らしい賞をいただきました。このような賞をいただけるのは、指導してくださる先生方をはじめ、先輩、同級生、後輩、支えてくださった方々のおかげだと思います。本当にありがとうございます。この結果に満足することなく、これからも精進して参りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます」。同じく第24回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会女子U23優勝の功績を認められた石上さんは「このたびは県知事表彰を受賞することができ、とてもうれしく思います。1年間、苦しい時期を経験し挫折しましたが、たくさんの方の応援や支えがあり、乗り越えることができました。その時期を乗り越えての優勝は、私にとってこれからの大きな財産となりました。学生競技生活も残すところ1年となりましたが、優勝を目指して頑張ります」。



妹尾さん(左)と石上さん

開いの記録
2月～4月

【テニス】
■令和3年度九州学生室内テニス選手権大会
(男子 第49回 女子 第41回)
(3/10～17 福岡/博多の森テニス競技場室内コート他)
▽男子 シングルス 1位 狩行 紀希来
▽女子 シングルス 1位 山本 未来
ダブルス 1位 富嶺、山本

【水泳】
■国際大会日本代表選手選考会
(3/2～5 東京/東京辰巳国際水泳場)
▽男子 200m平泳ぎ 6位 榎田 大己

【柔道】
■全日本学生柔道Winter Challenge Tournament 2022
(3/23～24 奈良/天理大学体育学部キャンパス武道館柔道場)
▽男子 60kg級 ベスト8 吉本 聖那
100kg超級 ベスト8 野田 隆世

【自転車競技】
■第16回明治神宮外苑大学クリテリウム
(2/27 東京/明治神宮外苑外周コース)
▽男子 大学生グループ2A 2位 新垣 慶晃
大学生グループ2B 5位 馬場 慎也
▽女子 7位 成海 綾香
8位 石上 夢乃

■第26回西日本チャレンジサイクルロードレース大会
(3/13 広島/広島県立中央森林公園サイクリングロード)
▽男子 U23 3位 津留 峻
■九州チャレンジサイクルロードレース2022
(4/2 大分/オートポリス国際レーシングコース)
▽女子 U23 1位 成海 綾香

【カヌー】
■2022カヌースプリント海外派遣選手選考会
(3/23～27 香川/府中湖カヌー競技場)
▽男子 C-1 200m 7位 池口 黎於
C-1 500m 6位 吉田 俊吾
C-1 1000m 7位 池口 黎於
8位 田中 智貴
C-2 500m 1位 原田、池口
2位 田中、岩永

授業料の納付について

令和4年度前期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

1. 銀行口座引落日
5月27日(金)
※新入生も同日となります。
※前日までに引落口座へ預金してください。

2. 授業料(半期分)：267,900円

3. 問い合わせ先
鹿屋体育大学
経営戦略課会計室出納係
TEL 0994-46-4841

ありがたいご支援ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

【冠スポンサー賞学金】

医療法人 秋津会	様	(三十八万円)
おおうら皮膚科	様	(三十八万円)
カイコー(株)	様	(三十八万円)
(株)かのや自動車学校	様	(三十八万円)
(株)きたやま	様	(三十八万円)
小鹿酒造(株)	様	(三十八万円)
(有)寿スポーツ	様	(三十八万円)
サツマガス工業(株)	様	(三十八万円)
(株)新生社印刷	様	(三十八万円)
医療法人青仁会池田病院	様	(三十八万円)
大森酒造(株)	様	(三十八万円)
税理士法人風呂井会計	様	(三十八万円)
株式会社丸屋	様	(三十八万円)
公益財団法人	様	(三十八万円)
ミズノスポーツ振興財団	様	(三十八万円)
(株)ミズノ商会	様	(三十八万円)
【一般】		
松下 雅雄	様	(六万円)
宮下 秀樹	様	(十五万円)